

非核の政府を求める大阪の会

ニュース

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 梅田 章二
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
URL・https://hikaku-osaka.jp/
E-mail・hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp
hikakuosaka@hotmail.com

第 228 号 2025 年 7 月 1 日



抑止力ではなく話し合いこそが (対立) 未来を拓く(憲法9条)

第 69 回大阪母親大会でダニー・ネフセタイさんの記念講演を聞いて (立川孝信)

5 月 31 日
日クレオ中
央で母親大
会があり私
はオーブニ
ングで男声
合唱団の
演奏をさせ
ていただい
た。この日
の記念講演
が「ダニー・
ネフセタイ」さん。
ダニーさんはイスラエル生まれの 68 歳、日

本に移り住んで 45 年、木工家具の作家ながら平和活動家として日本中で平和の講演活動を旺盛に展開されている。外国人特有の変なアクセントの日本語など全くなく講演時間中休む間もなく機関銃のように日本語が飛び出してくる。その魂の籠った言葉の一つ一つから本気で世界の平和を訴える心がドーンと伝わってきた。講演のタイトルは「世界中に広げよう憲法 9 条」で私たちが今当たり前のよう

手にしている日本国憲法の特に 9 条の大切さ、素晴らしさがウクライナ生まれだからこそ熱く語られるのだと納得した。彼は幼少の頃から国を守るため軍隊に入り戦闘機のパイロットになることが当たり前のよう

て生きてきたし、家族や周りからも期待されてきたという。そして徴兵制に応じた後、海外旅行で偶然に日本を訪れた時、戦争のない日本から初めて祖国を見つめ直した時、日本国憲法 9 条に目が覚めたのだった。

今朝ドラの「あんばん」で主人公が教師となり子ども達に大きくなれば兵隊さんになりお国のために戦えと何の疑いもなく教えている。彼女もまた師範学校で軍国教育を受けて正直なだけにその教えをまっすぐに受け止めてきたのだ。軍国主義の真つ只中の時代とは言え信じて疑わない軍国教育の恐ろしさをひしひしと感じる。これは 80 年以上前の日本の姿だが、ダニーさんは言います。今のイスラエルの姿だと。あの世界大戦でユダヤ人が 600 万人も殺されたのに今度はユダヤ人が大量虐殺をしているのはなぜか？よく戦争をするのは人間の本能だ

という人がいるが戦争が起こっているのは世界中でたった 2% だ。もし中東でイスラエル人とシリア人が出会ったら争いになるかもしれないが、日本の国内で出会ったら争いにはならない、やはり憲法 9 条の土壤があつて、中国が敵だとか北朝鮮が敵だという考えはない。だから莫大な軍事力で敵基地を攻撃する能力を持つのは全く無駄である。F35 戦闘機は 1 時間に燃料が 3600l が必要で 1800 台の車に相当し、600 万円かかる。そして大量の CO2 も発生するので気候変動が起こる。また軍事予算が 1 秒に 31 万円使われていること。「日本国憲法前文」まで引用して「いずれの国家も、自国のこのみに専念して他国を無視してはならない」このことを憲法では国家の名誉にかけて全力を上げて達成することを誓う、と謳っている。この誓いが全世界に広がるなら戦

争が無くなるに違いない。「国家のために死ぬのではなく、国家のために生きること。人は幸せに生きる権利を持っている」とパワーポイントを使いものすごい早口で彼が出版した本の 17 冊分の内容を約 2 時間位で語り尽くされた。もの凄い熱量だった。半世紀以上戦争が続くイスラエルからやってきて、下手をすれば戦闘機のパイロットになつて平気でパレスチナの人々を毎日殺していたかもしれない、そんな人間がああ

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
 - ② 国としてされる非核三原則を厳守する
 - ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

られることに「ノーベル平和賞」を贈りたいと心から思った。



の本を
読みませんか！

今回紹介するのは岩波ブックレットから発行された『被爆者からあなたに いま伝えたいこと』です。本書の内容を解説する前に、岩波ブックレットという小冊子を紹介します。1982年に岩波



書店から創刊され、安価で70頁前後の小冊子です。第1号は『反核—私たちは読み訴える核戦争の危機を訴える文学者の声明』です。憲法、平和、環境、人権問題などわかりやすく解説する学習テキストです。

本書の紹介をします。表紙の説明文にも明確に記載されていますが、「ふたたび被爆者をつくらないために」被爆の実相をつたえつつ核なき世界の実現を願う、次世代に伝えるメッセージです。

I 原爆は人間に何をもたらしたか
II ふたたび被爆者をつくらないために—被団協運動のあゆみ
III 核兵器も戦争もない世をめざして—核時代をのりこえる人間の生き方

とくにIII章には、現在の大きな課題、唯一の戦争被爆国・日本政府の核兵器禁止条約（国際法）に対する後ろ向きな姿勢を被爆者ならではの批判の声をあげています。被爆8

0年の今年、被爆者の声に改めて耳を傾け、核兵器のない世界をつくるエネルギーにしたいと思っています。是非一読をお願いします。

発行 2021年
編者 日本被団協
定価 620円＋税

シリーズ大阪における国民

平和**大行進**

1983年の平和行進：大阪から発した統一への裏切り・分裂策動を乗り越える平和行進（7.2-10）（後）

7月4日、河内長野市役所からのコースでは河内長野市役所で軍縮協からの申し入れがあり、「軍縮協通信」が配布されました。今日の行進については、大阪地評として中央の指示があるまで不参加。今日は軍縮協として参加する。但し参加は富田林からとなる。」というもので、河内長野市発時は軍縮協の4名の



▲河内長野—松原コース(7.4)

みが行進しました。最終の松原市役所まで平和行進は無事に終わりました。

この行進と並行して中央作業グループが開かれ、次の内容が決定され、松原で報告を受けました。その内容は7月5日午前9時まで①現地では合意できるような努力する②合意できない場合、主催者として決定する③7月5日午前9時作業グループを再開する、というものであった。7月5日、第10回作業グループ打ち合わせ会議が早朝7時、和泉市役所で開催されました。冒頭、日本山妙法寺から「合意を望む。できない場合は中央案に従

う。」ことを表明して退席。軍縮協からは「意見のちがいは明確。中央に報告し、中央の意見が出るまで行進はストップだ」。大阪原水協は「現場協議でやってきた。行進での混乱はない。あるとすれば、あなたたち内部の矛盾だけだ」。生協は「ストップさせるのは何事だ。来ている参加者に何と云って説明するのか」、9時20分ごろになり集中豪雨の中、とりあえず、中央の作業グループの結論がでるまで行進を進めることで確認。行進出発後、浜寺公園・喫茶店「再会」にて中央作業グループの判断を待ちました。11時、佐々木氏より



連絡を受けます。日本原水協のコメントは「作業グループの合意は準備委員会の決定には即ならない。運営委員会を経て公式決定になる。・・・旗以外について決まっていらない。全く自由であるが横断幕は自粛した方がいいのではないか。」その合意事項は以下の二点です。「①83年世界大会準備委員会の平和行進に関する基本的合意事項のうち特に、①④項を再確認する。②そのうえで大阪の緊急事態にかんがみ、大阪における平和行進は、7月6日午前9時を期して、83年世界大会準備委員会の横断幕のぼり旗・日本山妙法寺のぼり旗及び83年世界大会準備委員会構成団体の団体旗のみで実施する。」というものでした。7月5日の行進は和泉市役所から堺市役所まで統一労組懇の旗・のぼりは立てたまま最後まで行進をしました。中央準備委員会作業グループから

「7・5合意」について、7月5日第11回大阪平和行進実行委員会を開催し大阪原水協の態度を確認しました。それは①「7・5合意」は問題があり了承できない②83年平和行進については、現地協議、現地合意を基本に具体的対応にあたる③中央・大阪の統一労組懇の旗については、一旦、自主的に降ろすこととする④他の団体旗についても、すべて降ろすことを大阪作業グループに提案してみる⑤横断幕についてはこれまでどおり掲げて行進する、というものでした。大阪の対応を日本原水協に回答し、これに対して日本原水協からは「横断幕も旗と同様」との態度を明らかにし、改めて作業グループに持ち出さないとの回答でした。7月6日、住吉区役所での出発集会に先立って、現地で大阪作業グループの会議が開かれ、激論となりました。軍縮協は「7・5合意は横断幕もセッ



大阪統一労組懇バルーンを掲げて行進する国民平和行進(大阪原水協)(7.7)

トだ、原水協は「旗以外は議論していい、セッとはしない。ましてやプラカード・腕章は規制されない」、日本山妙法寺は「セッとはいいない」、出発時刻が迫る中で、大阪原水協・平和委員会としては、中央の状況もあり、この際一旦横断幕の掲示を留保して行進を出発させることが必要だと判断し、その措置をとりました。6日の行進は、中央準備委参加団体以外の旗と横断幕はすべて降ろした姿での行進となりました。東住吉区役所前で通信労組の旗で出迎えがあったことに軍縮協

から文句が出され旗を認めよと要求をだしました。軍縮協は相談をするまで待つてほしいと返答。6日の夜、大阪原水協・平和行進実行委員会の緊急会合が開催され、7日以降の対応について、次の意思統一を行いました。

①中央の「7・5合意」という状況を考慮し、旗と横断幕はとりあえず立てないこととする②あらためて、統一労組懇の小型アドバルーンを用意し、これを掲げて行進する③統一労組懇名や団体名を記入したプラカード、ゼッケン、腕章などを準備し、それらを掲げ、着用して行進を行う、というものでした。7

日から9日の行進は、この方針通り実施された。行進となりました。6日の行進は此花区役所から守口市役所までのコースです。出発前に作業グループの打ち合わせ会議がもたれ、日本山妙法寺から7・5合意にはのぼり、プラカードも含まれると発言。プラカード(大阪統一労組懇)について論議となりました。日本山妙法寺から「労組懇の字が大きすぎる。刺激的だ。私が消す」、原水協は「要するに労組懇の団体参加は認めないということか。そこを明確にしたい」、軍縮協は「排除とはいっていい。もつと配慮せよと言っているのだ」。結論がでないまま、その後、この日から出た統一労組懇の風船を見に行き解散となりました。行進が進む中、大阪市役所前集会で原水協の隊列が到着する前に一方的に集会が開催され、予定にない中江地評議長の挨拶が行われまし

た。午後からの行進には新婦人のリレー旗がたちました。城東・鶴見医療生協ののぼり45本も立ちました。7月8日は、守口市役所から枚方市役所までの行進です。朝、北河内地区協の森安事務局長が統一労組懇の風船を割る暴挙をおこなったのに対して抗議をおこなうと「わかっていない、知らない」と答え、軍縮協からは「われたことについて遺憾の意を表する」と原水協に回答します。この日は衛都連ののぼりが立ちます。軍縮協からは婦人民主クラブの小旗がたちます。7月8日は高槻市役所から吹田市役所までのコースです。統一労組懇の風船が再び上がります。衛都連ののぼり数本が立ちます。この日は軍縮協からの申し入れなどはありませんでした。7月9日、前日の国民平和行進中央実行委員会

の「大阪の平和行進についての態度表明」を行なったのに対応して吹田市職で第13回実行委員会を開催しました。討論の結果、次の2点を確認しました。

①中央実行委員会の態度表明は大阪原水協・平和行進実行員会の見解と基本的に合致している②池田市役所以降いっせいに旗をあげ兵庫に引き継ぐ。通告は事前におこなう。翌7月10日、原水協と軍縮協との非公式の打ち合わせが行われました。原水協から、池田市役所以降、旗を立てることを通告。軍縮協は、認めるわけにはいかない。聞かないこととする。というものでした。豊中市役所から池田市役所、そして川西市役所、大阪最後の行進のコースです。豊中市役所前での出発集会で社会党、共産党の両議員団が腕章をまいて参加(双方了承)、軍縮協からサンバイザーの政党表示を規制してほしいと申し入れがありました。原発反対の市民グループの旗を立てることについて了承を求め

てきました。原水協はそれを了承しました。池田市役所出発時、統一労組懇を含めた旗がいつせいに立ちます。軍縮協から「立つのが早い、共産党の旗はなんだ。準備委員会実施要綱の 8 項目違反だ」との申し入れがあり、共産党の旗・のぼり・タスキについては自粛してもらいました。川西市役所での引継ぎで大阪総評の芦田氏から「大阪原水協は中央実行委員会の立場に立ったので、83 年平和行進からおりとみる。従って川西市役所前での挨拶は遠慮するように」との申し入れがあり、原水協は拒否し、協議の結果、生協・原水協・軍縮協の三者が挨拶をしました。中央実行委員会の立場」というのは、7 月 8 日、幹事団体会議を開き、大阪の平和行進に関する「7・5 合意」を重大な誤りを含んだものとしての批判見解をまとめて公表したもので

す。7 月 9 日、中央準備委員会に対して「合意」撤回の申入れを行いました。中央実行委員会の見解は、①「7・5 合意」は重大な誤りであり実行委員会はこれに拘束されない、②中央準備委員会は「合意」を撤回すべきである、とするものでした。以上が大阪における 83 年平和行進の事実経過です。延べ 2 万人の参加者で統一を求める試みと分裂策動の意図を明らかにしていく複雑な行動を日夜行われました。大阪における平和の活動家は、60 年代の原水爆禁止運動における分裂策動、70 年代の運動と組織の統一問題の際の分裂策動で貴重な経験を経たことが、差し迫った局面に際しても、原則的対応と柔軟性をもった対応を両立して平和行進の伝統を守り抜くことになりました。大阪での問題がその後、中央の問題となつて原水爆禁止世界大会に影響を及ぼすことになり

ました。なお、この 83 年国民平和行進について、一方の当事者である大阪総評は『大阪総評 40 年の歩み』には一言も記述されていません。ただ「7・7 平和行進（弁天町コース）」と絵解きの写真掲載するのみです。この『大阪総評 40 年の歩み』の編集責任者は、当時の当事者である南野昌明氏（大阪地評事務局長）です。また、大阪原水協の創設期以来の事務局員でその後、大阪軍縮協の結成に参加した和田長久氏の著書『原子力と核の時代』（原水爆禁止日本国民会議（原水禁）の歴史書も同氏による著作）には、この 83 年国民平和行進で生じた問題を、「大阪では原水協が部落解放同盟の参加に反対したり、旗の持ち込みをめぐる混乱するなどしていた。」（前著）とのみ描いて問題の本質を意識的に描かれていません。大阪地評の歴史的文献においても統一労組懇

排除についてはふれられておらず、日本共産党の大衆運動への妨害・干渉との歴史的評価をあたえたいのでしょう。（原水禁編『開かれた「パンドラの箱」と核廃絶へのたたかい』「V 核戦争の危機と世界に広がる反核運動」四 日本原水禁運動）そのため、和田長久氏の著作、大阪地評の歴史書においても事実の紹介さえされていません。国民平和行進の歴史と伝統を現在もお引き継いで発展させてきたのは、日本原水協です。国民平和行進を重要な原水爆禁止運動の一環の取り組みと位置付けられていたのは日本原水協であつたということは今日の歴史が証明した言えます。これまで考察してきたように、大阪における労働運動の分裂策動、大阪地評による統一労組懇排除の問題が本質的問題であり、当事者である大阪統一労組懇を中心的な組織としていた大阪原

水協が、自らの自己批判をおこないながら日本原水協への真摯な批判をおこなってきたのが真実です。国民平和行進の歴史と伝統を破壊し、乗っ取りを図ろうとした大阪地評の分裂攻撃という本質的問題を充分理解していない日本原水協の一部幹部のなかで、その後

の辞任問題が生じました。当事者の大阪統一労組懇は『いま新しくはじまる 大阪統一労組懇 20 年史』の中で新宮良正大阪原水協理事長が詳細に総括された文書（P 60 「反核平和運動と統一労組懇」を記述されています。

なつとりくみ



- ❖ 田辺模擬原爆追悼のつどい 7 月 26 日（土）9:00 恩楽寺
- ❖ 高校生の描いた原爆の絵展、広島・長崎・ビキニ被災パネル展 第 7 回高校生・若者企画「ひばくしゃの話を聞く会」7 月 26 日（土）13:00～ 大阪市立社会福祉センター
- ❖ 原水爆禁止 2025 年世界大会（広島、長崎ともにメイン開催、大阪は長崎中心に派遣）
 - 国際会議 8 月 3 日（日）10 時～19 時、8 月 4 日（月）10 時～11 時 広島県 JA ビル
 - 世界大会—広島 8 月 4 日（月）～6 日（水） 8 月 4 日（月）14:00～ 広島県立総合体育館「グリーンアリーナ」 8 月 5 日（火）9:30～16:30 分科会・うごく分科会
 - 8 月 6 日（水）10:30～13:00 ヒロシマデー 広島県立総合体育館「グリーンアリーナ」
 - 世界大会—長崎 8 月 7 日（木）～9 日（土）8 月 7 日（木）15:00～ 長崎市民会館体育館と文化ホール *大阪代表団集会 14:30～（予定） 8 月 8 日（金）9:30～16:30 分科会・うごく分科会 長崎市内 8 月 9 日（土）10:30～13:00 ナガサキデー 長崎市民会館体育館と文化ホール
- ❖ 平和の鐘つき（大阪宗平協） 8 月 6 日（水）8:15 妙徳寺
- ❖ 第 15 回からほりピースフェスタ（実行委員会） 8 月 6 日（水）
- ❖ グローバル・ピース・コンサート in Osaka 2025 入場料：一般 前売り 2,500 円/当日 3,000 円 8 月 9 日（土）13:30 開演 ひがしなり区民センター 小ホール